

## 【令和4年度 第1回大山町総合教育会議】 議事録

日時 : 令和4年5月19日(木) 午前10時00分～11時30分  
場所 : 名和公民館 第1会議室  
出席委員 : 向陽寛孝、池嶋順子、髙山洋美、  
欠席委員 : なし  
教育長 : 鷲見寛幸  
その他の出席者 : 教育次長(前田)、幼児・学校教育課長(田中)、社会教育課長(徳永)、  
学校教育室長(浦木) 幼児・学校教育課 担当者(中井)

参観人 : 2人

### 日 程

#### 1. 開会宣言

教育長  
令和4年度第1回総合教育会議を始めます。

#### 2. あいさつ

町長  
お忙しい中、総合教育会議に出席いただきありがとうございます。今日は議題として3つ設定させていただいています。ひとつは、「庄内保育所の今後について」過去に大山町教育委員会では保育所の適正な規模を概ね30人の数値として示されていましたが、現在の少子化により庄内保育所の児童数は30人を切り、今後も人数の増加を見込めない状況にあります。ふたつめに、「中学校の制服のあり方について」です。議会からも問題提起があり、全国的にも性の多様性に対応した制服のあり方が議論されています。大山町として、今後どのように対応していくのか皆さんと意見交換させていただきたいと思います。最後に、「中学校の部活動の地域移行について」です。大山町では生徒の数が少ないこともあり、部活動の種類が限られています。中学生の部活動の選択肢を増やす意味でも、部活動の地域移行を進めていかなければいけないと思います。短い時間ではありますが、今日の議論を通じて大山町の教育環境の向上に努めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

教育長

学校現場の今の状況ですが、新型コロナ対応が3年目に入り、いろいろな制限がかかった中で行事等を進めている現状です。今日は、皆様から忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

### 3. 議事日程の報告

#### 日程第1

##### 会議時間の決定

自 午前9時30分      至 午前11時00分

#### 日程第2

##### (1) 庄内保育所の今後について

教育長

庄内保育所の今後について、幼児・学校教育課長より、今までの庄内保育所の経緯、現状について説明をお願いします。

幼児・学校教育課長

庄内保育所保護者懇談会ということで、令和4年4月19日に行いましたので資料を付けています。大山町全体の入所状況についてですが、出生数が少なくなっていることから入所数もそれに伴って少なくなっています。入所割合については、年々増加している傾向にあり、未就学児の9割が入所している状況にあります。保育所別保育所入所予定児童数として、庄内保育所は令和3年度は34人でしたが、令和4年度年度末までの入所予定数は21人となります。令和4年度につきましては、庄内地区児童人数51人に対しまして、庄内保育所は18人、名和さくらの丘保育園23人、ということで名和さくらの丘保育園に入所している人数が多くなっています。平成19年から平成25年3月までの方針決定までの経過を挙げていますが、平成19年の教育審議会の諮問から始まり、地区ごとの保育所再編検討会を踏まえて平成25年3月教育委員会で名和地区の保育所の在り方については、拠点保育所のほか、庄内保育所を残す。ただし、集団保育ができないほど少人数では保育の効果が望めないのもので、園児数が概ね30人以上という共通認識を持って緩やかに一園にしていくと方針の決定がされています。令和4年4月19日に行われた保護者懇談会では、保護者10名の方には出席いただきました。保護者の皆さんは教育委員会の方針をよくご存じでした。ただ、時代の流れで仕方がないが、

少し寂しいというのが全体での意見だったと思います。保護者懇談会の中で保育士の意見を聞いてほしいという意見がありましたので保育士のアンケート、所長会での意見もあげています。

教育長

ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

向陽委員

令和4年度の名和さくらの丘保育園の入所見込み数が、人口より多いのはどうしてですか。

幼児・学校教育課長

人口は、名和、御来屋、光徳地区の人数が127人ということですが、他の地区からの入所があり入所率が100%を超えています。庄内地区からの入所もあります。

向陽委員

どの辺りの地区の方が入所されますか。

幼児・学校教育課長

庄内地区からは多いと思います。大山地区から来られる方もおられます。

向陽委員

名和さくらの丘保育園の3歳児は人口に対して入所見込み数が多いですが、他の地区からも入所されますか。

幼児・学校教育課長

特に庄内保育所の入所見込み数が少ないので、庄内地区の方が入所されていると思います。

池嶋委員

庄内地区児童の就園状況ですが平成31年度は67名の内33名は庄内保育所を選ばれています。令和2年度は65名の内34名、令和3年度は55名の内28名が庄内保育所を選ばれていますが、令和4年度は51名の内18名と庄内保育所を選ばれる方が減っています。平成31年度から令和3年度までは、庄内地区では庄内保育所を選ばれる方が多いですが、令和4年度は、庄内保育所より名和さくらの丘保育園を選ぶ方が多いのが実態です。地元の良い保育所があるのに、名和さくらに入所される理由はなんな

のか。地域に保育所を残したいと思われるなら地元の庄内保育所を選ばれると思います  
が、どのような理由が考えられますか。

幼児・学校教育課長

全体の入所児童数が少なくなり、名和さくらの丘保育園が今は定員を割っている状況な  
ので入所しやすくなったのがひとつ考えられます。また、低年齢の入所が増えている事  
もあり、0歳の保育は拠点保育所しか行っていないことで、名和さくらの丘保育園を希  
望される方が多くおられます。延長保育や土曜保育の午後は拠点保育所しか行っていま  
せんので仕事の関係で選択される方も多くなっていると思います。

池嶋委員

庄内保育所を残したいよりも自分の家庭の事情を優先せざるを得ないのかなと思いま  
す。良い保育を地元でもらっている認識があれば入所数にもう少し現れたのではない  
かと思います。良い保育をでもらっているのに残念です。保護者の方の勤務状況も  
厳しくなっていることが反映されているのかもしれない。それぞれの事情があると思  
いますが残念です。

兎山委員

保護者懇談会の意見等で、時代の流れでしかたないという意見が多いですが、皆さんが  
納得されているのか諦めなのかわかりませんが、反対意見は断固反対なのか、納得はし  
ているが強いて言えば不安という感じでしょうか。

次長

断固反対というところまではいっていないと思います。しかたないけども、気持ちとし  
ては反対という。

兎山委員

30人を切るということでしょうかないかなということでしょうか。

次長

全体的にはそういう雰囲気でした。

向陽委員

庄内保育園に入所している子ども達の保護者からの意見ですか。

次長

直接、対面で話した意見です。

#### 向陽委員

庄内保育所を残す希望があれば皆で庄内保育所にいきましょう。となれば存続ができるわけですね。名和さくらの丘保育園を選ばれているということは、閉園してもしかないかなと感じます。

#### 教育長

その他、ご意見、ご質問等はよろしいでしょうか。

#### 町長

以前に教育委員会でしっかり方針を決めていただいて、30人を切ったら閉園と地域の方に浸透していましたので唐突感はないのかなと思います。当初、拠点保育所を作る際に保育園の数はどうするのかという議論から始まったことですが、当時は拠点保育所だけだと容量が厳しいということから、名和地区にあたっては一園残してやっていく。ただ、残すにあたって条件をつけた経緯がありますので、粛々と従っていくのも必要ではないかなと思います。

#### 教育長

庄内保育所は築40年経ちますが、30人切ったらという条件がありますので、大規模改修の対象にはなりません。補修も保育所職員が自分たちで補修していました。冷たいタイルの上を子ども達が歩くのを見て、本当にこの環境でいだろうかと思っていました。良い環境で保育をおこなう為には、大改修するか統合するしかありません。名和さくらの丘保育園に人数的に余裕があり、大改修するなら建て直すしかない状況を考えますと、皆さんのおっしゃる通り庄内保育所の方向性は見えてきていると考えています。

#### 池嶋委員

14年前から長い期間をかけて検討されていると思います。そういう時期が来たという事を否めないのかなと思います。庄内保育所より名和さくらの丘保育園を選ばれた時点で、施設の状況等を考えられた保護者の方の状況なのかなと思います。統合が否定できない状況に来ていると思います。

#### 飛山委員

庄内保育所に通っている園児を受け入れる場所もあり、各家庭が納得されておられるなら進めていただければと思います。

向陽委員

閉園になったとして、名和さくら以外にも転園できますか。

幼児・学校教育課長

はい。

## (2) 制服の在り方について

教育長

中学校の制服について、説明をお願いします。

次長

ジェンダーレスの制服について校長先生方も前向きに進めていきたいと考えておられます。今後、教育委員会と中学校長と議論を進めていき、来年の4月からスタートできればと思います。他地域の状況ですが、南部町では中学校長が主体となって今年の4月から導入されました。中学校が2校ありますが南部町内で使いまわせるように、それぞれの中学校でネクタイだけを変えています。日南町も今年から、岸本中は昨年からの議論を行い来年から導入予定だそうです。

教育長

ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

町長

性の多様性に対応した形で制服の選択肢を広げることは最低限必要だと思っていますが、制服があるということで限界があると思っています。私服であれば完全に自由な選択ができます。中学生になり、制服があることでいろいろな問題がでてきます。全国的にみて、制服自体をなくす選択をされている中学校もゼロではないと聞いています。制服があったほうが良いと思う反面、かなりの金額で購入しないといけないことが議論のポイントだと思います。

飛山委員

私服は各家庭の経済状況が大きく反映されてしまいます。制服を一度購入すると学校に通っている間は制服とジャージで過ごせるので、私服にかかる費用が少なくすみます。いろいろな式や行事の時にも制服は便利です。世界的に見て私服が悪いということは無いですが私は制服派です。LGBTの問題からもブレザーに変えるのは良いと思います。

早く変えて欲しいという気持ちもありますが、家庭によっては制服の購入は大きな買い物ですので、早めに各家庭に知っていただき納得してもらったほうが良いと思います。ポロシャツの金額は高いかもしれませんが、透けないことや乾きやすい等、いろいろなことを考慮されていけば仕方がないと思います。

#### 向陽委員

男女分け隔てなく平等にしていくのは良いと思います。子どもの意見をとりいれながら議論していくのも良いと思います。

#### 教育長

女子の夏服はセーラー服より安くなります。日南町の制服はネクタイでもリボンでも選べるようにされています。南部町はネクタイを生徒に選ばせたそうですし、制服に学校のマークが入っていないので南部町内で着まわすことができます。

#### 向陽委員

校章はバッチにすれば良いと思います。

#### 池嶋委員

制服を貰って着ている子どもも多いと聞いています。町民さんのいろいろな立場に立って考えると制服代が高いと感じます。もっと値段の幅がある制服の資料が欲しいです。南部町では補助があると聞いていますがどのくらいの補助がでますか。また、町内でジェンダーに悩んでいる子ども達の状況を教えてほしいです。

#### 教育長

南部町の補助については、1人1万円の補助が3年間あるそうです。町内ではスカートに抵抗があるお子さんがいます。制服だけでなく水着の問題もあり、水着に対して抵抗があるお子さんがいます。制服だけでなく水着も議論や考慮が必要な時代だと思います。

#### 町長

こども課が子育てに係る経済的負担について調べをしていますので、中学校入学にかかる費用が高いことは調査済みです。こども課で何か補助が出来ないか議論を進めているところです。考え方として、会社の制服は会社が支給することになります。学校や組織が指定した制服も原則論からいって支給しないといけないのかなと考えています。このことを踏まえて制服の購入金額の補助の検討を進めています。制服の種類ですが、女子がスラックスを着るのは抵抗がないかもしれませんが、男子がスカートの制服を着たいと思ってもハードルが高くて選びたくても選べないと思います。制服を新しくしていく

のであれば、男女で別けたような制服ではなく、男子も女子も同じ形の性別による選択が無い制服にしてしまえば悩みも出てこないのではないかと思います。水着の議論と同じかもしれませんが男女の分け隔てがないような制服を検討してみてはどうかと思います。

向陽委員

南部町の制服は男子もスカートを注文できますか。

町長

購入は出来るとは思いますが、履こうと思うとハードルが高いと思います。

兜山委員

町長さんの言われた場合では、女性でもスカートを選んで履くことができますので、出生は男性で心は女性だとしても、制服はスラックスでも普段はスカートを持つことができますと思います。出生は女性で心は男性だと、男性はスカートを履きませんよね。そこを制服としてスカートで行かないといけないことは苦痛だと思います。男女の制服があってもいいと思います。同調圧力でスラックスを履きづらいことがあると言われていましたが、ジェンダーに限らず、体が冷えてスカートを履けない女の子もスラックスを選べますので男女の制服があっても良いと思います。

教育長

南部町は4月の段階では男子のスカートはいみせんでしたが女子のスラックスは数名いたそうです。2年生、3年生も新しい制服を着ている生徒が数名いたそうです。

副町長

ジェンダーレスの観点での制服の議論でいろいろなオプションを設定するのは良いと思います。男性がスカートを履いたら何と言われるかのプレッシャーや雰囲気そのものが正されるべきですし、それには教育による力が大きいと思います。スカートは女性の物だという思い込みが刷り込まれていることが大きいです。文化や多様性を認めるマインドが育っていくことを、制服にいろいろなオプションを導入することで一緒に進められるべきではないかと思います。子どもにとってなぜ制服なのか、学校という社会の中の決まりとして、ひとつの議論を進めるポイントなのかなと思います。

教育長

今後、教育委員会でも議論し各学校でも議論の場になりジェンダーを考える場になると思います。

### (3) 中学校の部活動の地域移行について

教育長

中学校の部活動の地域移行について説明をお願いします。

次長

文部科学省より令和5年度から部活動の休日の地域移行を目指して取り組んで欲しいと話があります。大山町の現状はすごく難しいですが、その中でも突破口になりそうな例を紹介します。名和中学校が今進めようとしている事がいくつかありますが、ひとつは、公民館のサークルでダンスを立ち上げようとしている方がおられます。その方と話をする中で、中学校の部活として受け入れても良いという話も聞いています。順調にいけば7月から活動ができるように準備をしています。地域移行の足掛かりになればと考えています。名和中学校では他にも、地域の方から、そういった活動をすれば中学生が参加してくれるかなという話がありましたので、もっと発展していくのかもしれない。もうひとつは、スポーツ少年団の活動を中学生まで延長することです。すでに、これに近い形がスポ少剣道ではできています。剣道部に関しては、スポ少の剣道部、中学校の部活、スポ少と部活両方と3通りの活動がありますが、名和中学校では、どれを選んでもよいので柔軟に対応しようと考えています。また、中山中学校では複数名の地域の方から吹奏楽部の活動を手伝いますという話があります。地域の方の協力を得ながら部活動が進んでいくのは、ひとつの良い例だと思います。出来ることから、どんどん移行していけたらと考えています。平日は地域の活動場所に行くための移動が難しい部分でもありますので、学校で部活としてやっていけることは学校で活動し、休日には地域の活動に移行していく等いろいろと試しながらやっていけたらと思っています。

教育長

課題として、地域移行といっても地域の指導者がいない状況があります。学校に来て指導して下さる方もおられないし、地域の活動場所までの移動の問題もあります。境港では陸上は地域移行されています。大山町でも陸上は立派な指導者がおられます。部活動で立派な指導者がおられるうちはいいですが、今の学校の現状としては、教員の数も少なくなり顧問の先生の負担が大きくなっているため地域の方の協力が重要になります。中学校の働き方改革の中で一番ネックになるのが部活動ですので、改善されていけばと考えています。

町長

部活動の地域移行は国全体に取り組んでいる状況です。指導力がある先生や指導経験が長く、この先生に指導してもらわないともったいないということは全国的に出てくることだと思います。中学校と部活動は切り離して考え、先生が空いた時間に希望されて指導したいということでしたら、放課後に地域に入って指導してもらおうといったことも合わせて検討が必要だと思います。

次長

県もそのパターンを考えています。放課後に地域に入って指導することで報酬を得る方向も考えていますが、勤務時間が短ければいいですが、放課後地域に入るのは難しいと思います。

兎山委員

地域のスポ少は信頼のあるチームでもあるので、強くなりたい生徒は実際にスポ少に入っています。中学生になって初めてするスポーツに入りたい、楽しくスポーツをしたい生徒もいると思いますので、そういう生徒のことも考えていかなければいけないと思います。

次長

ひとつの例が、名和中の剣道部だと思います。学校は初心者に対して先生が教え、スポ少は専門的に教えることで、すみわけが出来てくる可能性があると思います。選択肢が増えることが一番です。公民館サークルの件でも、中学生おいでとってくださる方がおられれば選択肢が増えますので、それを中学校としても部活動として認める。こういった流れになればと思います。

教育長

中学生は、どの子も部活動には入らないといけない決まりになっています。限られた中で、仕方なしに選んでいる子もいます。中学校生活の大切な時期に本人の希望する部活動をさせてあげたい。選択肢が増えることがねらいのひとつかなと思います。

池嶋委員

地域の方が手伝ってくださることは、とてもありがたいことだと思います。部活動の時間帯の指導者を探すことが難しいと思います。

次長

人材バンク的なことも必要だと思います。部活やスポーツだけではなく文化的な面からも含めて人材バンクを作らないといけないと、コミュニティスクールの面からも話して

います。

教育長

中学校の部活動のメリットのひとつに、生徒指導の部分も大きな役割です。誰でもいいというわけではありません。多感な中学生の生徒の心理を理解しながら指導できないといけない。今後、その辺りを考えながら地域に移行していくことが必要だと思います。

#### (4) その他

#### 4. その他

特になし

教育長

教育委員会では今後も協議を重ねていきたいと思えます。本日はお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。以上で総合教育会議を終了します。

#### 5. 閉会宣言

午前11時21分